

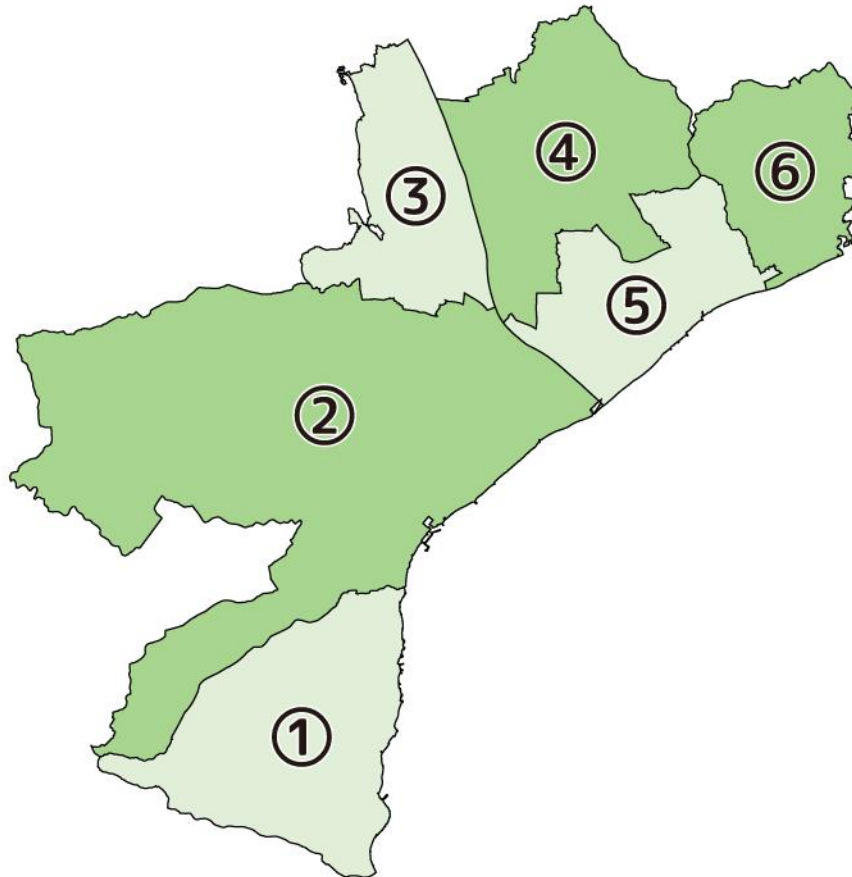
### 3 第7章「地域別計画」に係る改訂

#### 3-1. 第6章の変更に伴う修正及び追記

##### ■地域別計画

地域別計画では、小田原市都市計画マスタープランと合わせ、市域を①片浦地域、②中央地域、③富水・桜井地域、④川東北部地域、⑤川東南部地域、⑥橘地域の6つの地域に区分し、計画を示します。

##### ■地域別区分図



##### ■地域区分

地域区分	地区
① 片浦地域	片浦
② 中央地域	緑、新玉、万年、幸、十字、足柄、芦子、二川、久野、大窪、早川、山王網一色
③ 富水・桜井地域	東富水、富水、桜井
④ 川東北部地域	豊川、上府中、下曾我、曾我
⑤ 川東南部地域	下府中、国府津、酒匂・小八幡
⑥ 橘地域	前羽、橘北

### 3-2. 片浦地域の主な事業・取り組み (片浦地区)



石橋地区国道 135 号からの眺望



江之浦地区のみかん栽培

#### ■みどりの概況

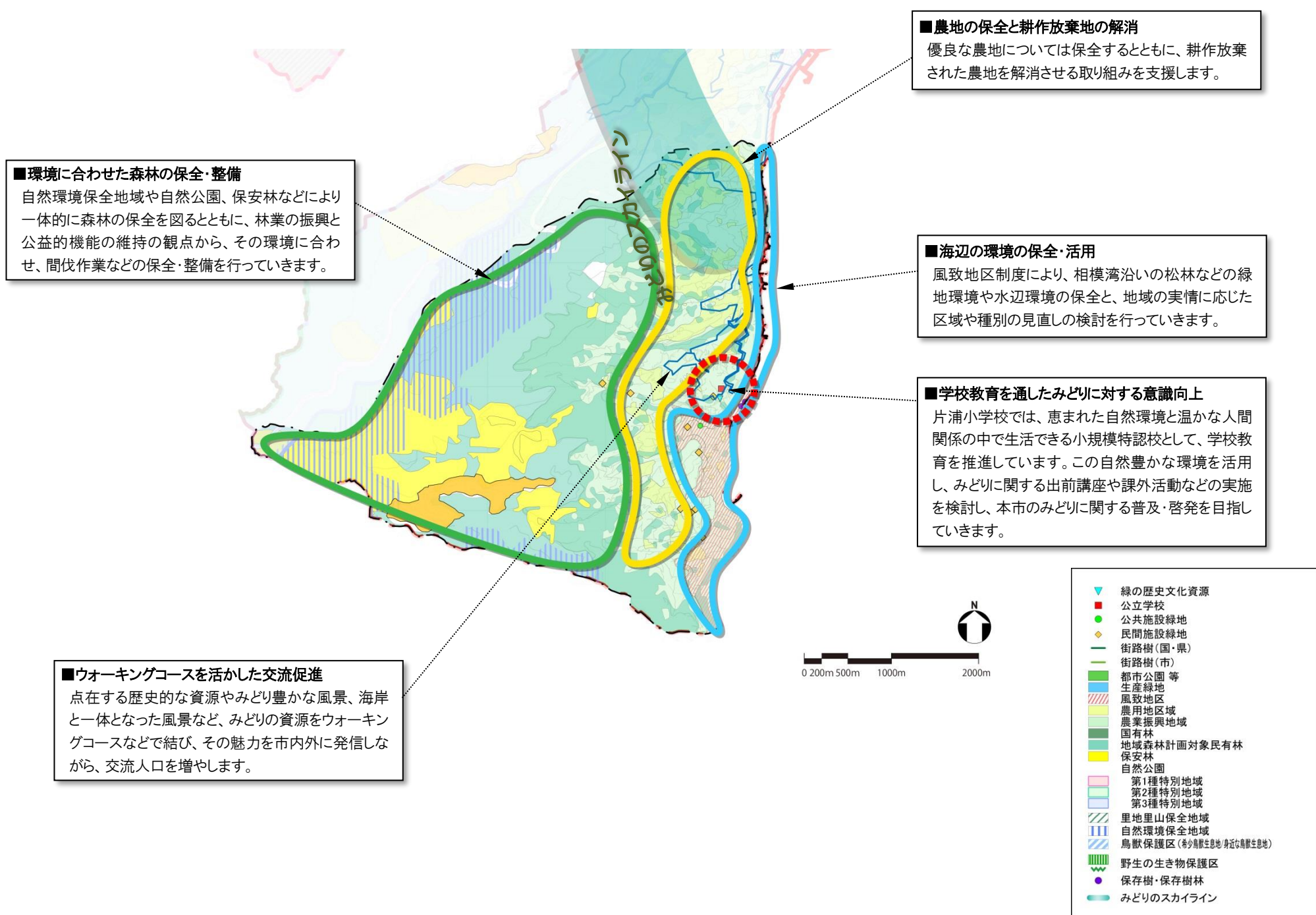
- ・片浦地域は西側に箱根に連なる山を抱え、東側には急峻な断崖とともに相模湾が存在しています。全域が市街化調整区域となっており、地形を活かした柑橘農業や林業経営がこの地域の特色です。
- ・地域西側山地の自然環境保全地域や自然公園、保安林、海側の風致地区の指定など、土地利用上の規制がかけられている地区が多く、また地形が急峻で土地利用が厳しいことなどから、豊かな自然が残されてきました。現況調査による緑被率は89.9%であり、その7割近くが樹林地となっています。
- ・みどりの資源である樹林地のなかには、石橋山古戦場や戦国時代の土塁遺構をはじめとする多くの歴史的な資源もあり、さらには春のイベントとして、根府川のおかめ桜まつりなども行われています。

#### ■みどりの課題

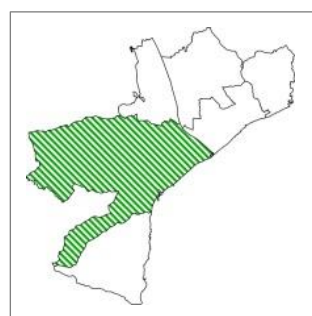
- ・緑被率が高くみどりが貴重な資源となっている地域ですが、アンケートでは「荒れてきた」、「豊かだがきれいでない」という人が多く、満足度は低い結果となっています。
- ・今後は、自然環境保全地域およびその周辺地域の自然の保全として、間伐や枝打ちなどによる森林の質を維持する活動や、耕作放棄地の解消に向けた取り組みの支援、点在するみどりや歴史に関する資源の活用が必要となります。

#### ■主なみどりの資源等

種類	箇所	面積	備考
都市公園	—	—	
公共施設緑地	2	8,023 m <sup>2</sup>	みどりの広場(根府川)、小学校校庭(片浦)
地域制緑地	自然公園(特別地域)、保安林、自然環境保全地域、農用地区域、風致地区		
主なみどりの資源 片浦海岸(ジオサイト)、石橋山古戦場、佐奈田霊社、根府川寺山神社、おかめ桜、江之浦海水浴場、旧片浦中学校			



3-3. 中央地域の主な事業・取り組み (緑地区、新玉地区、万年地区、幸地区、十字地区、足柄地区、芦子地区、二川地区、久野地区、大窪地区、早川地区、山王網一色地区)



「県立小田原高等学校の樹叢」と天守



松永記念館庭園(日本の歴史公園100選)と背後の斜面林

■みどりの概況

- 中央地域は、箱根に連なる山から酒匂川へ向かっての丘陵地と平野部の足柄平野からなり、小田原城や城下町、明治以降の著名人の邸宅などによる歴史的なまち並みが形成されているのが特色となっています。
- 地域の周りには酒匂川や早川、久野川・山王川が流れていることから水辺環境も豊かな地域であり、北部の山地が大きな面積を占めるため、現況調査による緑被率は73.3%と片浦地域に次いで高く、そのうち樹林地が7割強を占めています。
- みどりと一体となった歴史的文化的な邸宅のほか、古くに建立された神社仏閣の多くで社寺林が残っており、巨樹や古木は、市街地における貴重なみどりとなっています。
- みどり豊かな城址公園や城山公園、市外からの来園者も多い小田原こどもの森公園わんぱくらんど、緑化の拠点となる小田原フラワーガーデンや辻村植物公園など、大規模な都市公園が多いことから、一人当たり公園面積は市内で最も高くなっています。

■みどりの課題

- 都市計画決定された都市公園(中央公園(城址公園・城山公園)、板橋公園、河原公園)において、長期未着手の区域があることから、都市公園の配置方針や規模等の計画をふまえ、見直しを図っていく課題があります。
- 現況調査で駅を中心とした市街地周辺におけるみどりの量が少ないという結果が出ており、市民や企業と協働による緑化活動が必要とされます。

■主なみどりの資源等

種類	箇所	面積	備考
都市公園	56	664,047.0 m <sup>2</sup>	小田原城址公園、城山公園、小田原こどもの森公園わんぱくらんど、辻村植物公園、小田原フラワーガーデン、県立おだわら諏訪の原公園、久野霊園、街区公園
公共施設緑地	26	557,530.6 m <sup>2</sup>	石垣山一夜城、いこいの森、みどりの広場(星山、欠ノ上、留場)、ポケットパーク(北條)、小学校校庭(新玉、三の丸、町田、山王、足柄、芦子、久野、大窪、早川)、中学校校庭(白鷗、城山、白山、城南)、市営住宅内公園(久野)、下水処理場広場(寿町ふれあい広場、扇町しらさぎ広場)、河川緑地(酒匂川右岸緑道、市道0009緑地散策路)、屋外スポーツ施設(寿町テニスコート、酒匂川スポーツ広場)
地域制緑地			自然公園(特別地域)、自然環境保全地域、保安林、地域森林計画対象民有林、農用地区域、生産緑地地区、風致地区、保存樹林、天然記念物(小田原高等学校の樹叢、紀伊神社の社叢、長興山鉄牛和尚寿塔付近の樹叢)、河川区域(酒匂川、早川、山王川)

主なみどりの資源  
 御幸の浜、久野諏訪ノ原 4 号古墳、荻窪用水、小田原用水、長興山の枝垂桜、清閑亭庭園、小田原文学館(西海子公園)、松永記念館、古稀庵、静山荘、等

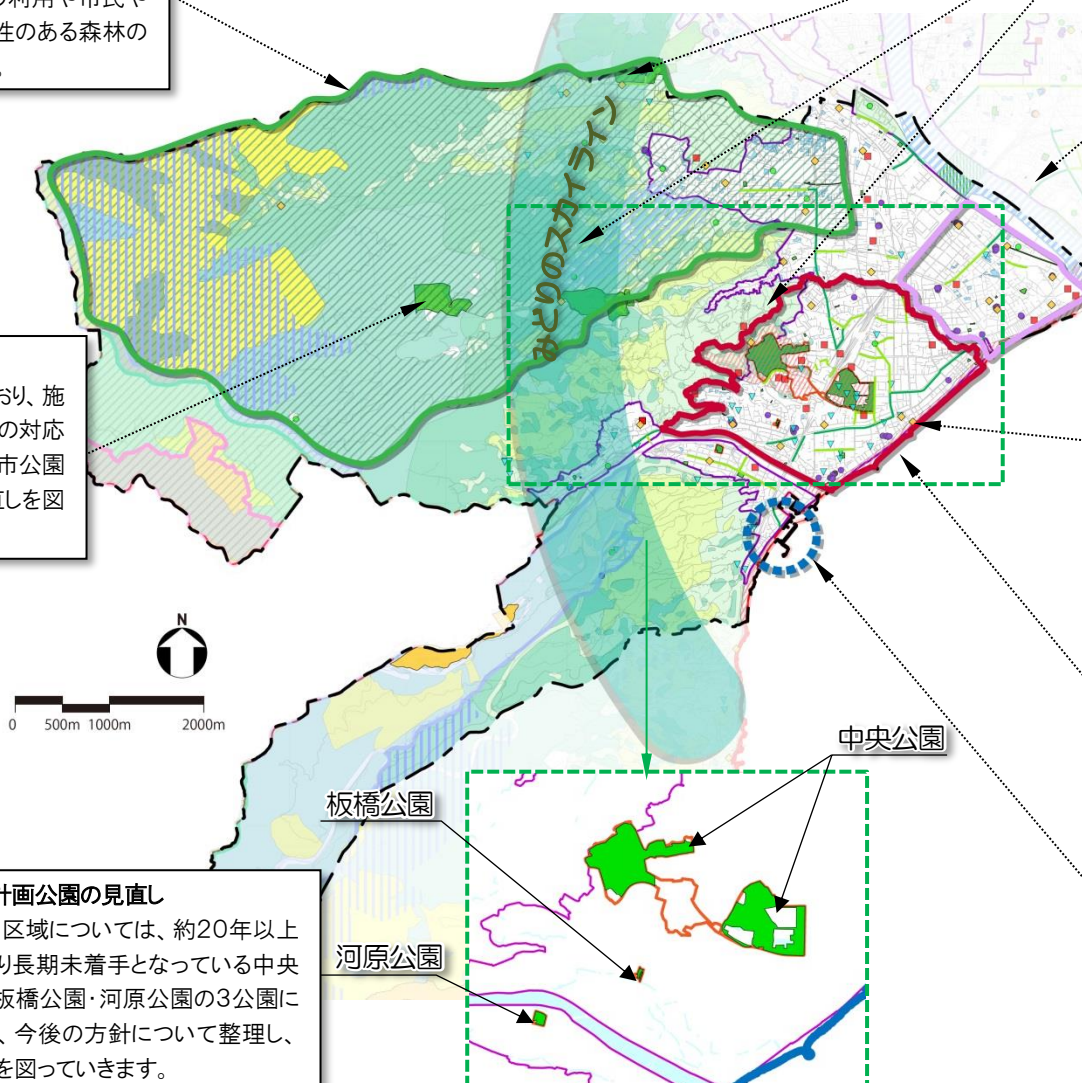
※県立おだわら諏訪の原公園は、中央地域、富水・桜井地域の2地域にまたがる。

■森林の保全・再生活動の普及  
 森林の保全を支援する各種制度の利用や市民や企業が参加する活動により、継続性のある森林の保全・再生活動を実施していきます。

■久野霊園の機能等の検証  
 久野霊園は、整備完了から20年が経過しており、施設の老朽化対策や多様化する墓地需要等への対応が望まれています。現在の区域において、都市公園や霊園として、求められる機能を検証し、見直しを図ります。



■都市計画公園の見直し  
 一部の区域については、約20年以上にわたり長期未着手となっている中央公園・板橋公園・河原公園の3公園について、今後の方針について整理し、見直しを図っていきます。



■大規模な都市公園の再整備  
 城山公園慰霊塔周辺、小田原こどもの森公園わんぱくらんど、小田原フラワーガーデンは利用者ニーズに対応し機能をより発揮させるよう、再整備を行います。

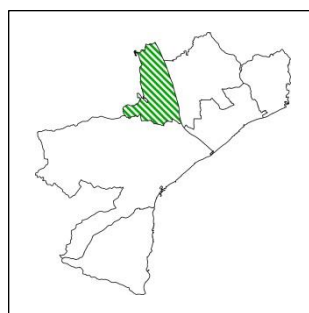
■社寺林等の保全  
 公開性のある社寺の保存樹等について、その価値や保全への普及・啓発と支援策の導入を検討します。

■緑化重点地区の取り組み(P.130 参照)  
 ・玄関口となる駅周辺の緑化活動  
 ・中心市街地におけるみどりの回廊づくり  
 ・歴史的文化的な建築物と一体となったみどりの保全  
 ・社寺林等の巨樹・古木の保存  
 ・歴史的文化的な小田原用水の保全・活用  
 ・城址公園における史跡と緑の共生  
 ・街路樹の再整備 等

■海辺の環境の保全・活用  
 風致地区制度により、相模湾沿いの松林などの緑地環境や水辺環境の保全と、地域の実情に応じた区域や種別の見直しの検討を行っていきます。

■海岸におけるオープンスペースの整備  
 漁港と一体となった憩いや賑わいの空間づくりとして、多目的広場の整備を促進していきます。

### 3-4. 富水・桜井地域の主な事業・取り組み (東富水地区、富水地区、桜井地区)



県立おだわら諏訪の原公園からの眺望



堀之内付近の仙了川のみどり

#### ■みどりの概況

- ・富水・桜井地域は、箱根山地の山裾と酒匂川、狩川の間  
の足柄平野からなる地域で、地域内には仙了川を中心に  
大小の水路が網目のように走り、多くの農地が残って  
います。
- ・地域全体の緑被率は40.2%と、川東南部地域に次い  
で低く、特に蓮正寺地区が20%弱と低い状況です。
- ・緑被地のうち農地が5割強を占めており、また酒匂川  
と狩川の主要2河川に挟まれていることから、水面・水  
辺の割合が高いことが特徴となっています。
- ・住まいの周りのみどりや河川・水路に対して「きれい」、  
「豊か」と感じる人が多く、他地域に比べて満足度が高  
い結果となっており、田園風景と河川や水路が存在す  
る地域の特性を表しています。
- ・まちづくりに大切なみどりとして「水辺・海岸」「農地・  
山林」であると答える市民の割合が多く、共存するみど  
りや河川などについての意識も高いことがわかります。
- ・自然の中で健康増進などを楽しめる県立おだわら諏訪  
の原公園が広域的な機能を担っています。

#### ■みどりの課題

- ・交通の利便性などによる影響で宅地化が進行し、地域中  
央には住宅地が形成されています。そのため、住宅地  
の中に農地や耕作放棄地が混在するなどの土地利用が課  
題の一つとなっています。
- ・田園風景と調和するみどり豊かな居住環境の形成や、  
府川、穴部地区一帯に広がる丘陵がつくるみどりの稜  
線の保全のため、みどりに対する高い意識を活かし、緑  
化活動として展開していくことが必要とされます。

#### ■主なみどりの資源等

種類	箇所	面積	備考
都市公園	19	135,199.0 m <sup>2</sup>	県立おだわら諏訪の原公園、街区公園
公共施設緑地	19	87,112.0 m <sup>2</sup>	みどりの広場(中曽根、飯田岡東、北ノ窪、久所、栢山、曾比)、小学校校庭(東富水、報徳、富水、桜井)、中学校校庭(泉、城北)、市営住宅公園(蓮正寺、螢田、かすみのせ、柳町、浅原)河川緑地、(栢山散策路)、屋外スポーツ施設(小田原テニスガーデン)
地域制緑地	地域森林計画対象民有林、農用地区域、生産緑地地区、保存樹林、河川区域(酒匂川、狩川、仙了川)		
主なみどりの資源			
二宮尊徳生家・尊徳記念館と庭、報徳堀、稲荷神社、栢山神社、若宮八幡神社、等			

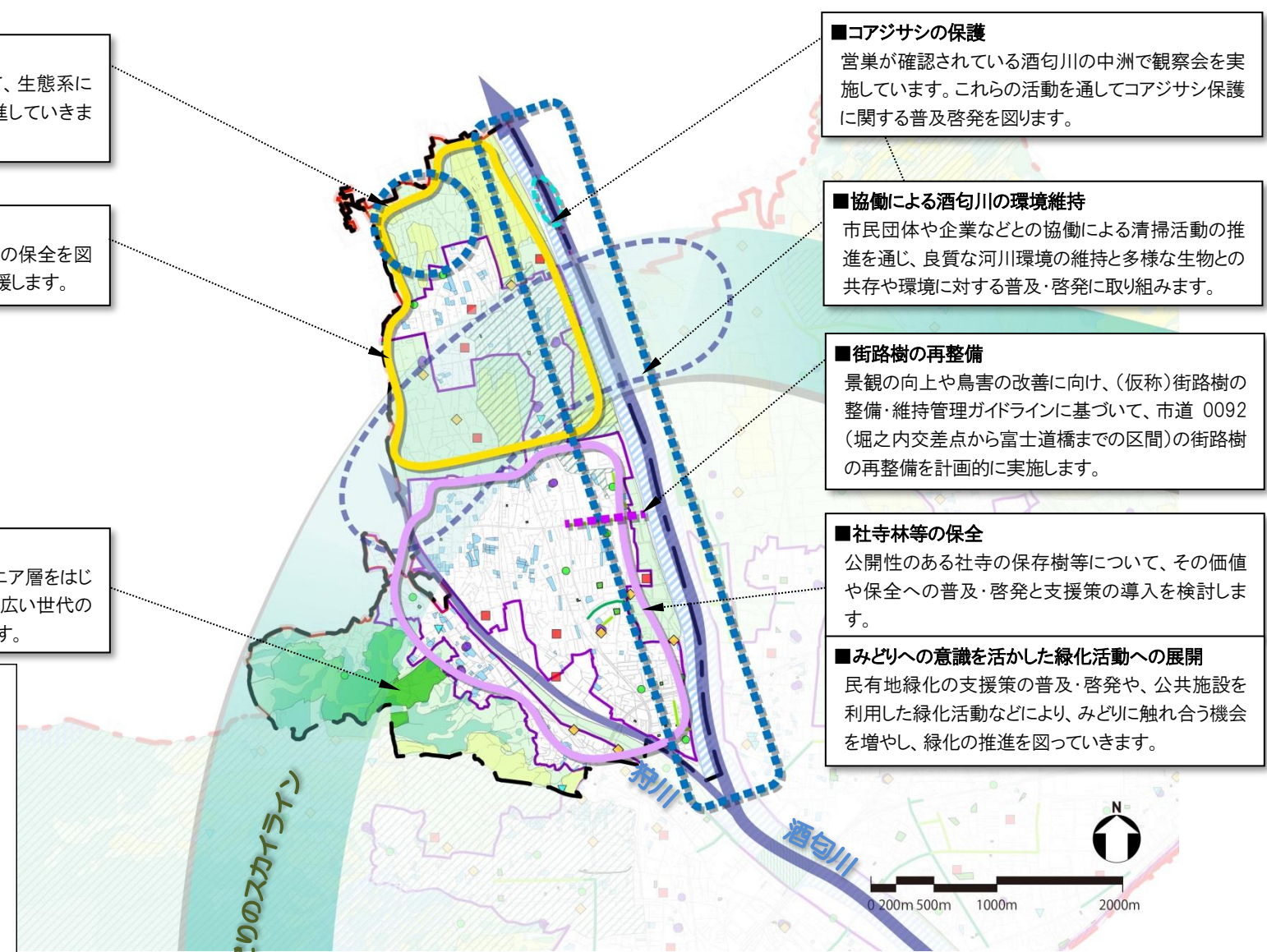
※県立おだわら諏訪の原公園は、中央地域、富水・桜井地域の2地域にまたがる。

**■河川環境整備事業の推進**  
牛島排水路と寺下排水路について、生態系に配慮した多自然水路の整備を推進していきます。

**■農地の保全・活用**  
曾比、栢山地区に広がる優良農地の保全を図るとともに、耕作放棄地の解消を支援します。

**■大規模な都市公園の利活用**  
県立おだわら諏訪の原公園は、シニア層をはじめとする健康増進を中心として、幅広い世代の利用について、促進を図っていきます。

- ▲ 緑の歴史文化資源
- 公立学校
- 公共施設緑地
- 民間施設緑地
- 街路樹(国・県)
- 街路樹(市)
- 都市公園等
- 生産緑地
- 風致地区
- 農用地区域
- 農業振興地域
- 国有林
- 地域森林計画対象民有林
- 保安林
- 自然公園
- 第1種特別地域
- 第2種特別地域
- 第3種特別地域
- 里地里山保全地域
- 自然環境保全地域
- 鳥獣保護区(希少鳥獣生息地・身近な鳥獣生息地)
- 野生の生き物保護区
- 保存樹・保存樹林
- みどりのスカイライン



**■コアジサシの保護**  
営巣が確認されている酒匂川の中洲で観察会を実施しています。これらの活動を通してコアジサシ保護に関する普及啓発を図ります。

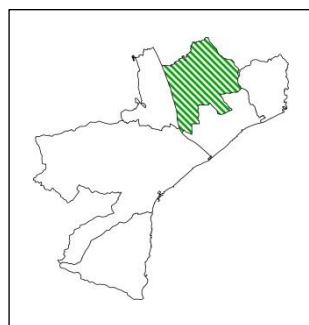
**■協働による酒匂川の環境維持**  
市民団体や企業などとの協働による清掃活動の推進を通じ、良質な河川環境の維持と多様な生物との共存や環境に対する普及・啓発に取り組みます。

**■街路樹の再整備**  
景観の向上や鳥害の改善に向け、(仮称)街路樹の整備・維持管理ガイドラインに基づいて、市道 0092(堀之内交差点から富士道橋までの区間)の街路樹の再整備を計画的に実施します。

**■社寺林等の保全**  
公開性のある社寺の保存樹等について、その価値や保全への普及・啓発と支援策の導入を検討します。

**■みどりへの意識を活かした緑化活動への展開**  
民有地緑化の支援策の普及・啓発や、公共施設を利用した緑化活動などにより、みどりに触れ合う機会を増やし、緑化の推進を図っていきます。

3-5. 川東北部地域の主な事業・取り組み（豊川地区、上府中地区、下曾我地区、曾我地区）



桑原地区の酒匂川沿いの水田



曾我別所の梅林

■みどりの概況

- 川東北部地域の東側は大磯丘陵、その西側の平野は優良な農地と一部市街地となっており、酒匂川、下菊川、関口川、剣沢川、森戸川、酒匂堰などの河川や水路が地域を縦断しています。
- 豊富な水資源を活かした水田と丘陵の梅林やみかん栽培など、農業を中心とした田園景観を有する地域と工業団地や工場を抱える地域とで形成され、市街化調整区域が8割を占めています。
- 現況調査による緑被率は58.9%で、このうち農地が約6割、樹林地が約3割となっており、水田や、大磯丘陵に存在するまとまりある森林と麓の梅林が緑被率に大きく影響しています。また、市街化区域内には生産緑地地区が点在しており、居住地域におけるみどりの空間づくりに寄与しています。
- みどりに関する施設として、大規模な都市公園である、上府中公園が存在していますが、身近な街区公園の配置が不均等で、地域の一部は都市公園の充足率が低い状況となっています。

■みどりの課題

- 市民アンケートでは、「子どもの遊び場が欲しい」、「地球温暖化の防止や生活環境を改善するみどりが重要」、「みどりは豊かだがあまりきれいではない」などの回答が多かったことから、みどりの「質」の向上に向けた緑化の取り組みや、身近な都市公園の活性化エリアにおける都市公園の整備、市民や企業との協働による環境に配慮したみどりの保全、優良な農地や特産品を活かした観光イベントや農業体験などの都市住民との交流による農業振興などが必要とされます。

■主なみどりの資源等

種類	箇所	面積	備考
都市公園	21	122,946.0 m <sup>2</sup>	上府中公園、街区公園
公共施設緑地	15	67,482.4 m <sup>2</sup>	みどりの広場(延清、西大友)、市営住宅内公園(桑原、春木、籠場、花里)、小学校校庭(豊川、千代、下曾我、曾我)、中学校校庭(千代)、農村公園(中河原ふれあい広場、上曾我農村公園)、市民農園(別堀地区)、屋外スポーツ施設(高田運動場)
地域制緑地	保安林、地域森林計画対象民有林、農用地区域、生産緑地地区、保存樹林、天然記念物(勝福寺・八幡神社の樹叢)、河川区域(酒匂川、森戸川)		

主なみどりの資源

下菊川、関口川、剣沢川、酒匂堰、メダカの生息地、六本松跡(ジオサイト)、曾我の梅林、勝福寺(大イチョウ)、瑞雲寺(モッコク)、三島神社(ケヤキ)、須賀神社(クスノキ)、浄蓮寺、東大友八幡神社、宗我神社、等

■大規模な都市公園の再整備

上府中公園は、利用者ニーズに対応し、機能をより発揮させるよう、再整備を行います。

■協働による酒匂川の水環境維持

市民団体や企業などと協働による清掃活動の推進を通じ、良質な河川環境の維持と多様な生物との共存や環境に対する普及・啓発に取り組めます。

■メダカの保護

市民団体と協働で、メダカの生息地の環境保全活動を推進します。

■森林の保全・再生活動の普及

森林の保全を支援する各種制度の利用や市民や企業が参加する活動により、継続性のある森林の保全・再生活動を実施していきます。

■農地の保全と耕作放棄地の活用

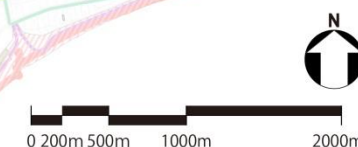
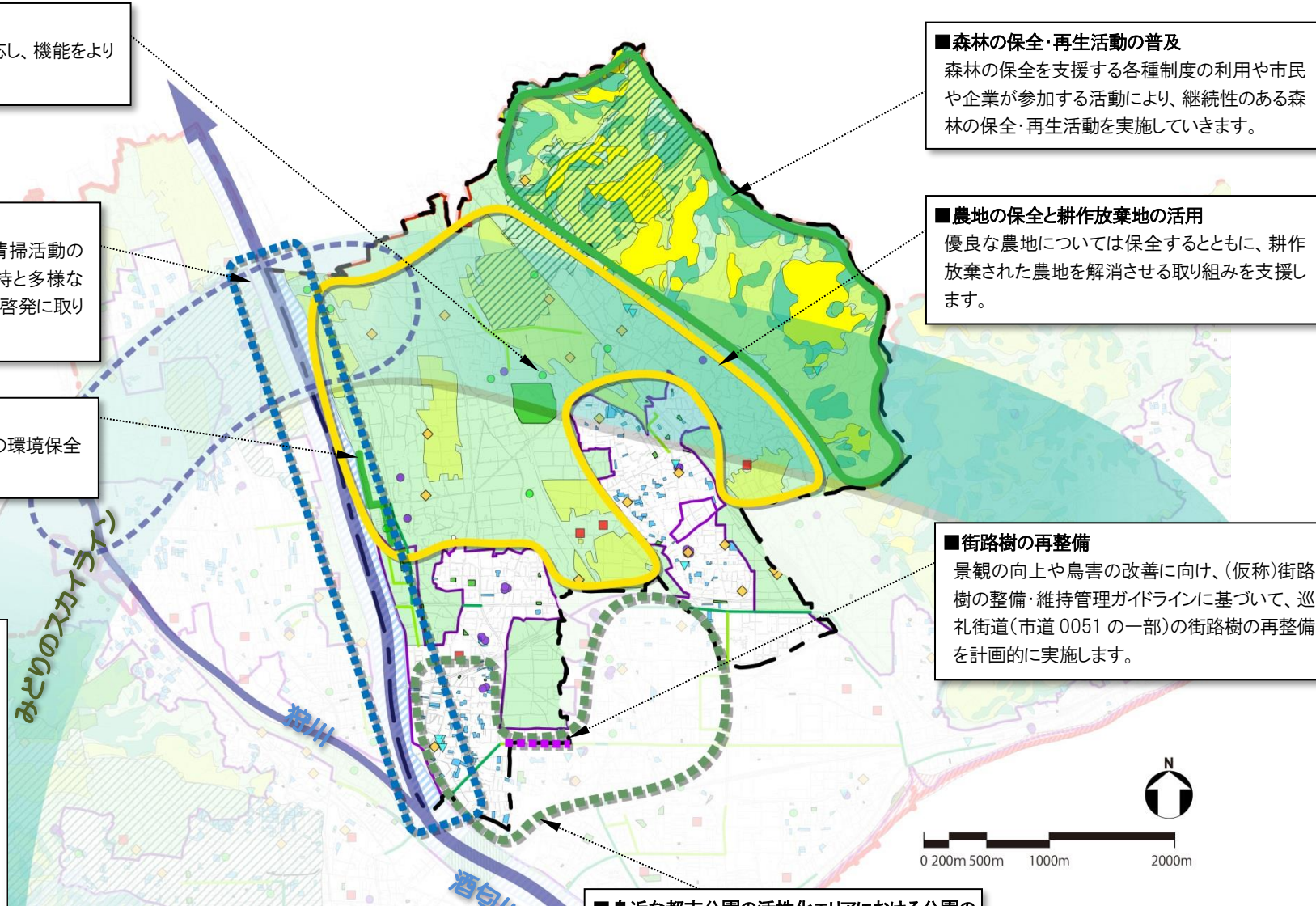
優良な農地については保全するとともに、耕作放棄された農地を解消させる取り組みを支援します。

■街路樹の再整備

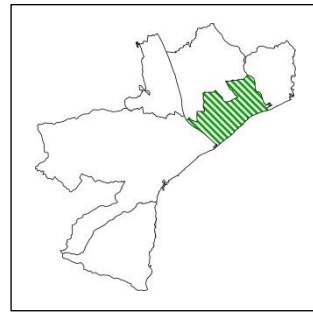
景観の向上や鳥害の改善に向け、(仮称)街路樹の整備・維持管理ガイドラインに基づいて、巡礼街道(市道0051の一部)の街路樹の再整備を計画的に実施します。

■身近な都市公園の活性化エリアにおける公園の確保

都市公園やその代替となる公共的な空間が少ないことから、みどりの空間の需要に対応すべく、生産緑地地区等の活用を視野に入れた都市公園の整備を推進します。



### 3-6. 川東南部地域の主な事業・取り組み（下府中地区、富士見地区、国府津地区、酒匂・小八幡地区）



寶金剛寺境内の庭



中里付近の工場や商業施設外周の緑化

#### ■みどりの概況

- 川東南部地域の東側は、大きな稜線を描く大磯丘陵となっていますが、地域の多くは概ね平坦な土地で、比較的大規模な工場や商業施設が集積し、市街化区域が7割を占めています。
- 酒匂川、森戸川、下菊川、酒匂堰など、河川や水路がバランスよく存在しているのが特徴です。
- 現況調査によると、緑被率は28.9%と市内で最も低く、特に中里地区が10%弱と低い状況にあります。みどりの配置の中心は大磯丘陵をはじめとする樹林地や農地であり、低地部にはまとまったみどりを殆ど見ることができませんが、神社仏閣が立地する古くからの住宅街等では、比較のみどり豊かなまち並みが形成されています。また、生産緑地地区が点在しており、居住地域におけるみどりの空間づくりに寄与しています。
- 昭和20年代後半の早い時期から工場誘致が行われ、中里地区などに企業が進出しました。近年は工場跡地などに大型商業施設等が進出し、その敷地外周を緑化するなど、企業による緑化活動も推進されています。
- みどりに関する施設については、大規模な公園がなく、身近な街区公園も少ないことから、都市公園に代わる機能を有する公共施設緑地を考慮しても、市内で最も整備水準が低い状況となっています。

#### ■みどりの課題

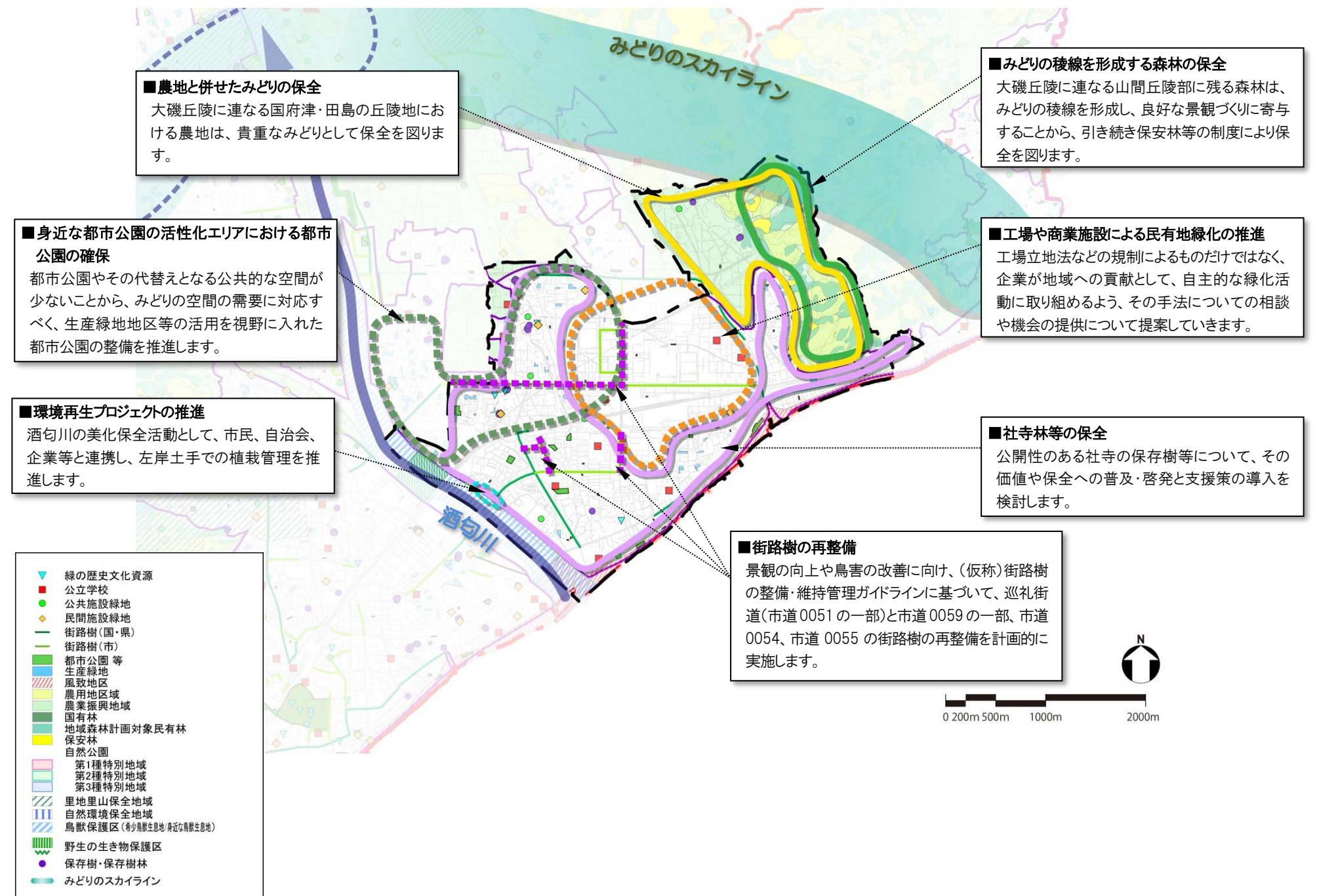
- 市民アンケートでは、「もっと緑があるといい」、「子どもの遊び場が欲しい」、「支障となる街路樹の対策」など、みどりに対する満足度が低い結果となっていることから、工場や商業施設における民有地緑化の推進や街路樹の再整備、身近な都市公園の活性化エリアにおける都市公園の整備などに取り組む必要性があります。

#### ■主なみどりの資源等

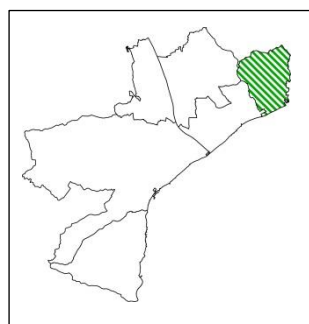
種類	箇所	面積	備考
都市公園	32	40,736.9 m <sup>2</sup>	街区公園
公共施設緑地	16	156,262.9 m <sup>2</sup>	みどりの広場(鴨宮、酒匂大道、小八幡)、小学校校庭(矢作、国府津、富士見、下府中、酒匂)、中学校校庭(鴨宮、国府津、酒匂)、市営住宅内公園(浜)、下水処理場広場(酒匂きりり広場)、農村公園(田島ふれあい広場)、屋外スポーツ施設(酒匂川左岸サイクリング場、鴨宮運動場)
地域制緑地	保安林、地域森林計画対象民有林、農用地区域、生産緑地地区、風致地区、保存樹林、河川区域(酒匂川、森戸川)		

#### 主なみどりの資源:

酒匂堰、下菊川、菅原神社、加茂神社、春光院、酒匂神社、小八幡八幡神社、津島神社、田島の横穴古墳、岩瀬邸、等



### 3-7. 橘地域の主な事業・取り組み (前羽地区、橘北地区)



県道 709 号(中井羽根尾)沿いの街路樹



千代の松跡から望む丘陵の農地景観

#### ■みどりの概況

- ・小高い丘陵地に囲まれ、相模湾に面していることから、温暖な気候を活かした柑橘栽培などが盛んで、地域西側には果樹園が広がり、中村川沿いでは水田の存在もあります。市街化調整区域は農用地区域と国有林がモザイク状に入り混じり、一部保安林の指定がされています。その状況から、現況調査による緑被率は61.7%と自然の豊かな地域であることがわかります。農地、樹林地が概ね半々となっています。
- ・大規模な都市公園は羽根尾史跡公園があり、住民一人当たりの都市公園面積は約5㎡/人あり、標準には至らないまでも、開設されている公園の配置に偏りがなく、市内では比較的良好な条件にあります。羽根尾史跡公園には樹林地に包まれた古墳文化を今に伝える貴重な遺跡があり、歴史を学べる公園としての利活用を推進しています。

#### ■みどりの課題

- ・市民アンケートでは、「歴史文化への役割をみどりに期待する」、「住まいのみどりを重視する」、「みどりは豊かだがあまりきれいではない」という意見が多くあったことから、地域の歴史や文化を今に伝える羽根尾史跡公園の再整備や民有地緑化の支援策を活用した住宅地の沿道部などにおける緑化の推進により、身近なみどりの質の向上などが必要とされます。
- ・偏りなく存在する既存の公園においては、老朽化した遊具の計画的な更新や利用者のニーズに合わせた公園のリニューアルなどにより、公園としての魅力を高め、利用の促進を図る必要があります。

#### ■主なみどりの資源等

種類	箇所	面積	備考
都市公園	25	60,048.3 ㎡	羽根尾史跡公園、街区公園
公共施設緑地	4	43,572.0 ㎡	小学校校庭(前羽、下中)、中学校校庭(橘)、中村原埋立処分場
地域制緑地	保安林、地域森林計画対象民有林、農用地区域、生産緑地地区、保存樹林、天然記念物(前川近戸神社の社叢)、河川区域(中村川)		
主なみどりの資源 塔台川、羽根尾貝塚(ジオサイト)、沼代桜の馬場、王子神社(杉)、広済寺(カキ)			

